

消化器疾患（大腸腫瘍、特発性炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）、虫垂炎、胆嚢炎、他の消化器癌）の診断・治療のため、当院に入院・通院された患者さんの消化器組織（大腸、虫垂、胆嚢）と診療情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 病理学教室 職名 講師
氏名 下田 将之
連絡先電話番号 03(5363)3764

実務責任者 所属 病理学教室 職名 講師
氏名 下田 将之
連絡先電話番号 03(5363)3764

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの消化器組織（大腸、虫垂、胆嚢）と診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、研究責任者の下田将之までご連絡下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦1980年1月1日より2016年12月31日までの間に、慶應義塾大学病院外科にて消化器疾患（大腸腫瘍、特発性炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）、虫垂炎、胆嚢炎、他の消化器癌）の診断・治療のため入院、通院し、手術、検査などを受けた方

2 研究課題名

承認番号 2012377

研究課題名 消化器の腫瘍性・非腫瘍性疾患におけるメタロプロテアーゼの免疫組織学的局在解析

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 病理学教室・外科学教室、慶應義塾大学病院 病理診断部

4 本研究の意義、目的、方法

消化器疾患には、大腸癌、潰瘍性大腸炎、クローン病、虫垂炎、胆嚢炎など様々な病気が含まれていますが、これらの病気がおこる原因については十分解明されていません。慶應義塾大学医学部

病理学教室では、消化器疾患に関する病気の成因や病態の解明のための基礎的な研究に取り組んでいます。わたしたちは、メタロプロテアーゼ（MMP と ADAM 分子）という分子がさまざまな病気の進行に関与することを見つけ、関節リウマチや悪性腫瘍などにおいて、これらの分子を標的にした診断法や治療法の開発に力を入れてきました。この研究においては、手術で採取した様々な消化器疾患において、メタロプロテアーゼがどのような細胞でどの程度作られているかを組織学的に調べます。具体的には、診断治療を目的とした検査または手術後の診断に用いられた後の消化器組織（大腸、虫垂、胆嚢）を用いて、蛋白質の発現や局在などについて調べるとともに、診療情報を利用し研究を行います。消化器疾患の発生とメタロプロテアーゼがあることとの関係を明らかにすることにより、新たな診断法や治療法の開発に役立てたいと考えています。

5 協力をお願いする内容

本研究には、手術や検査で摘出した大腸、虫垂、あるいは胆嚢組織を病理診断した後に、その診断に用いたパラフィンブロックの提供をして頂きます。また、診療記録から治療に関する他の検査結果などの情報を使用させていただきます。

6 本研究の実施期間

2012年12月21日～2018年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの消化器組織（大腸、虫垂、胆嚢）と診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した消化器組織（大腸、虫垂、胆嚢）と診療情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究機関名：慶應義塾大学医学部病理学教室

住 所：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

電 話：03-5363-3764（直通）（電話対応時間 9:00～17:00）

実施責任者：下田 将之（しもだ まさゆき）

以上